

# 「家畜商データベース・システム」利用規約

この利用規約（以下「本規約」という。）は、一般社団法人日本家畜商協会（以下「協会」という。）が管理・運用する「家畜商データベース・システム」（以下「本システム」という。）の利用条件を定めるものである。本システムの利用者（以下「利用者」という。）は、本規約に従って本システムを利用するものとする。

## 【目的】

第1条 本システムは、肉用牛生産者が多様な家畜商等の取引相手からの安定的な素牛導入を可能にすることにより、肉用生産者の経営規模の拡大及び地域の家畜市場の取引の活性化を図ることを目的として利用する。

## 【本システムの利用】

第2条 本規約は、利用者と協会との間の本システムの利用に関わる一切の關係に適用する。

- 2 利用者が本システムを利用するためには、本システムへの利用登録（以下「登録」という。）をしなければならない。
- 3 利用者は、本システムへの登録申請時に、本規約のほか、別途定める「家畜商データベース・システム」運用規程及び「プライバシーポリシー」に同意しなければならない。
- 4 協会は本規約を、利用者への予告なしに変更できるものとする。本規約の変更については、過去の本規約の規定に優先して適用されるものとし、本システムに関する協会のホームページへの掲載をもって周知し、これを適用する。

## 【登録】

第3条 登録ができる者は、以下の各号に定める項目に該当する者とする。

- (1) 家畜商：家畜商法に基づいて家畜商の免許を与えられ、かつ、肉用牛の取引を行っている者
  - (2) 家畜商組合：家畜商を構成員とする組合組織
  - (3) 肉用牛生産者：肉用牛の肥育、繁殖又は一貫経営を行う農家
  - (4) その他：家畜商及び生産者以外であって、協会が適当であると判断した事業者、組織、団体等
- 2 登録希望者は、登録にあたり、参加申込書（別紙様式-1、2、3）を協会に提出（オンライン登録申請を含む。）しなければならない。
  - 3 登録希望者は登録の際に、自己の情報のみを登録することとし、他人の情報をもって登録することはできない。登録は、一つとし、重複して登録することはできない。登録する自己の情報は、真正、十分かつ最新のものとし、虚偽の記載や重要事実の故意の未記入は認められない。
  - 4 協会は、登録希望者による本システムへの登録申請について、本システムの目的・方針を勘案して登録を承認するか否かを審査することができるものとし、協会による登録の承認をもって登録が完了するものとする。

- 5 登録希望者は、登録に当たり、協会が非公開基準で前項の審査を行うことを了承するものとし、審査の結果は、申請後、審査に合理的に必要な期間を確保した上で、申請者に対し通知されるものとする。審査の結果、登録が承認されなかったとしても、協会は非承認の理由を開示する義務を負わず、申請者は審査の結果に対し一切の異議申し立てを行うことはできない。
- 6 登録が完了した利用者は、本システムの利用者 ID 及びパスワードを自己の責任において管理し、これを第三者に開示し、又は譲渡・貸与することはできない。協会は、ログインの際に入力された利用者 ID 及びパスワードが登録されたものと一致することを協会所定の方法により確認した場合、当該利用者による利用があったと見做すことができるものとし、当該利用に起因又は関連する責任は当該利用者が負うものとする。
- 7 利用者は、登録情報に変更が生じた場合は速やかに登録情報を更新するものとする。また、利用者は、文書により協会に申し出ることによっていつでも登録を抹消することができ、この場合、当該利用者に係る情報は登録抹消後、速やかに本システム上から削除されるものとする。

#### 【本システムにおける情報の掲載・投稿及び閲覧のルール】

第4条 利用者は、本システムにおいて、自己の情報の掲載、利用者相互で情報交換等を行う掲示板への投稿及びこれらの閲覧を行うことができるものとする。ただし、以下の各号に定める内容を含む情報の掲載又は投稿をしてはならない。

- (1) 本システムの目的から大きく逸脱した内容
  - (2) 事実と反する内容・虚偽の内容
  - (3) 同一内容を繰り返す投稿内容
  - (4) 利用者間の個別の問題や紛争に関わる事項と協会が判断した内容
  - (5) 著作権、商標権、プライバシー権等の他者の権利を侵害する内容
  - (6) 当該利用者に関係しない個人情報を含む内容
  - (7) わいせつ・卑猥な表現を含む内容
  - (8) 他人を威圧・脅迫する旨が看取される内容
  - (9) 粗暴性、残虐性又は犯罪を誘発助長する内容
  - (10) 第三者に対する不当な利益誘導、名誉・信用の毀損に当たる内容
  - (11) 法令、公序良俗に反する内容
  - (12) その他本システムの運営を妨げると協会が判断した内容
- 2 利用者は、本システムにおいて協会又は他の利用者から提供され、閲覧する一切の情報につき、本システムの利用目的の範囲内でのみ使用し、協会又は情報提供者たる他の利用者からの事前の許諾なく、協会又は当該他の利用者以外の第三者に当該情報を開示・漏洩しないものとし、登録抹消後も係る義務を負うものとする。
  - 3 協会は、本システム上で利用者が掲載・投稿する情報について、本システムの適正な運営等を図るため、当該情報が第1項の各号に定める内容に該当するか否かを審査することができる。これに該当する場合は、協会は自らの判断で、当該情報の一部又は全部を修正削除し、あるいは当該利用者による本システムへの情報の掲載及び投稿を中止することができる。
  - 4 協会は、本システムの運営上及び技術上、必要であると判断した場合、利用者が提供する情報及び利用状況等について、監視、分析、調査等必要な行為を行うことができるものとする。

### 【利用者の禁止行為】

第5条 利用者は、本システムの利用に関して、以下の各号に定める禁止事項に該当する、又は該当するおそれのある行為を行ってはならない。

- (1) 法令又は公序良俗に違反する行為
- (2) 犯罪行為に関連する行為
- (3) 本システムに含まれる著作権、商標権ほか知的財産権を侵害する行為
- (4) 協会、他の利用者又はその他の第三者のサーバ又はネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
- (5) 本システムによって得られた情報を本システムの目的に反する商業的な利用のために使用する行為
- (6) 協会の業務及び本システムの運営を妨害する、又は妨害するおそれのある行為
- (7) 不正アクセスをし、又はこれを試みる行為
- (8) 他の利用者に関する個人情報を収集又は蓄積する行為
- (9) 不正な目的をもって本システムを利用する行為
- (10) 本システムの他の利用者又はその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- (11) 他の利用者に成りすます行為
- (12) 協会が許諾しない本システム上での宣伝、公告、勧誘、又は営業行為
- (13) 面識のない異性との出会いを目的とした行為
- (14) 協会のサービスに関連して、第7条に規定する反社会的勢力に対して直接又は間接に利益を供与する行為
- (15) その他協会が不適切と判断する行為

### 【著作権等】

第6条 利用者は、本システムを、本規約その他協会の定める範囲内においてのみ使用することができる。

- 2 本システムにおいて提供されるすべての情報に関する著作権その他一切の権利は、利用者が自己の権限に基づいて掲載・投稿したものを除き、すべて協会に所属する。
- 3 利用者は、本システムを通じて提供されるすべての情報について、協会の事前の許諾なく本システムの利用目的の範囲を超えて使用してはならない。ただし、自己の登録情報や利用者が自ら作成し、自ら掲載・投稿した情報等については、当該利用者が自由に利用することができる。
- 4 利用者が、理由のいかんにかかわらず、第2条第1項各号に該当しなくなった場合は、本システムにより提供された情報に係る使用权は当然に消滅する。
- 5 本条の規定に違反して紛争が生じた場合、利用者は、自己の費用と責任において、当該紛争を解決するとともに、協会及びその他の第三者に一切の損害を与えないものとする。

### 【反社会的勢力の排除】

第7条 利用者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下「反社会的勢力」という。）に該当しないことを保証し、暴力的行為、詐術・脅迫行為、業務妨害行為等法令に抵触する行為又はこれらのおそれのある行為を行わないものと

する。

- 2 利用者が前項の規定に違反した場合には、協会は事前に通告することなく利用者の本システムの利用を停止し、又は登録を抹消する等の措置を講じることができる。これにより利用者何らかの不利益又は損害が生じたとしても、協会は一切の責任を負わない。

#### 【利用制限及び登録抹消】

第8条 協会は、利用者が以下の各号のいずれかに該当する場合には、事前の通告なく、利用者に対して本システムの全部若しくは一部の利用を制限し、又は登録を抹消することができるものとする。

- (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
- (2) 登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合
- (3) 協会からの連絡に対し、一定期間返答がない場合
- (4) 本システムについて、最終利用から長期間にわたり利用が無い場合
- (5) その他協会が本システムの利用を適当でないと判断した場合

#### 【本システムの提供の停止等】

第9条 協会は、以下の各号のいずれかに該当する場合、利用者に事前に通告することなく、本システムの全部又は一部の提供を停止又は中断することができる。

- (1) 本システムにかかるコンピュータシステムの保守点検又は更新を行う場合
- (2) 地震、落雷、火災、停電等の不可抗力により、本システムの提供が困難となった場合
- (3) コンピュータ又は通信回線等が事故により停止した場合
- (4) その他協会が本システムの提供が困難と判断した場合

#### 【免責事項】

第10条 協会は、登録された利用者の本人確認や営業状況等につき調査する義務を負わない。

- 2 協会は、本システムに掲載される利用者から提供された情報について、その真実性、正確性、有用性、合法性等について何ら保証しない。
- 3 協会は、本システムの利用において、利用者が期待する結果の実現について何ら保証するものではなく、利用者はこれについて協会に何ら異議を申し出ないものとする。利用者は、何らかの事情により本システムに登録、掲載又は投稿された情報が破損・滅失した場合のために定期的にその内容を自らバックアップする等の対応を行うものとし、利用者が当該対応を行わなかったこと又は行ったことによる損害については、協会は一切の責任を負わない。
- 4 協会は、利用者が本システムを利用したこと又は利用できなかったことに起因又は関連して当該利用者へ生じた一切の損害に対して責任を負わない。また、利用者が他の利用者による本システムの利用により損害を受けた場合も同様に、協会は何らの責任を負わない。
- 5 利用者につき本システムの利用に起因又は関連してその他の第三者（他の利用者を含む。）との間でトラブルが発生した場合、当該利用者が自らの責任において当該トラブルの解決を図るものとし、協会はこれに関し何らの責任を負わない。

- 6 第8条に基づく利用制限及び登録抹消、第9条に基づく本システムの提供の停止等、第11条に基づく本システムの内容変更等、利用者による情報の誤送、第三者による情報の改ざんや漏洩等により利用者に発生した損害について、協会は何ら責任を負わない。

**【本システムの内容変更等】**

第11条 協会は、利用者に通知することなく、本システムの内容を変更し、又は本システムの提供を中止することができるものとする。

**【利用規約の変更】**

第12条 協会は、必要と判断した場合には、利用者に通知することなくいつでも本規約を変更することができる。なお、本規約の変更後、利用者が本システムの利用を開始した場合には、当該利用者は変更後の規約に同意したものとみなす。

**【個人情報の取扱い】**

第13条 本システムにおける協会による個人情報の取扱いについては、別途定めるプライバシーポリシーによるものとし、利用者はこれに同意する。

- 2 本システムに情報を掲載・投稿した利用者は、当該利用者の個人情報が、プライバシーポリシーに定める利用目的の範囲内において、他の利用者に提供されることあらかじめ同意する。

**【権利譲渡の禁止】**

第14条 利用者は、あらかじめ協会の書面による承諾がない限り、本規約上の地位又は本規約に基づく権利若しくは義務の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

- 2 協会は、本システムにおけるサービス又は本規約上の地位の全部又は一部について、協会の裁量により第三者に譲渡することができる。

**【分離可能性】**

第15条 本規約のいずれかの条項又はその一部が、適用される法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、かかる判断は、本規約のその他の部分の有効性には影響しない。

**【準拠法及び裁判管轄】**

第16条 本規約の準拠法は日本法とし、本規約に関する一切の紛争は、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第1審の専属的合意管轄裁判所とする。

附 則：この規約は、令和3年3月22日から施行する。

附 則：この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則：この改正は、令和6年4月1日から施行する。

(別紙様式-1)

## 家畜商データベース・システム参加申込書

家畜商用

一般社団法人 日本家畜商協会  
管理責任者殿

「家畜商データベース・システム」利用規約、同運用規程及び一般社団法人日本家畜商協会プライバシーポリシーに同意し、下記の家畜商情報を家畜商データベースで開示することに同意します。

令和 年 月 日

代表者氏名 \_\_\_\_\_ (署名)

(家畜商情報)

No	項目	内容	備考
1	※所属家畜商組合名称		注2
2	※家畜商正式名称		
3	家畜商略称		
4	※代表者氏名		
5	※住所	〒	
6	担当者氏名		
7	※連絡先電話番号	TEL	
8	E-mail		
9	ホームページ		

注1. ※は必須記入項目です。

注2. 家畜商組合に所属していない場合は「無し」と記入して下さい。

注3. 複数ある場合には別紙に記入して下さい。

注4. 家畜商組合に所属していない家畜商の方は家畜商免許の写しを添付して下さい。

(別紙様式-2)

## 家畜商データベース・システム参加申込書

参加組合用

一般社団法人 日本家畜商協会  
管理責任者殿

「家畜商データベース・システム」利用規約、同運用規程及び一般社団法人日本家畜商協会プライバシーポリシーに同意し、下記の家畜市場情報を家畜商データベースで開示することに同意します。

令和 年 月 日

代表者氏名

(署名)

(家畜市場情報)

No	登録項目	内容	備考
1	※家畜市場（家畜商組合）正式名称		
2	略称		
3	※代表者氏名		
4	家畜市場の運営者氏名		
5	※住所	〒	
6	※連絡先電話番号	Tel	
7	E-mail		
8	ホームページ		

注1. ※は必須記入項目です。

(別紙様式-3)

## 家畜商データベース・システム参加申込書

肉用牛生産者用

一般社団法人 日本家畜商協会  
管理責任者殿

「家畜商データベース・システム」利用規約、同運用規程及び一般社団法人日本家畜商協会  
プライバシーポリシーに同意します。

令和 年 月 日

代表者氏名 \_\_\_\_\_ (署名)

(肉用牛生産者情報)

No.	項目	内容	備考	
1	※代表者氏名			
2	法人名(個人名も可)			
3	※住所	〒		
4	担当者氏名			
5	※連絡先電話番号	TEL		
6	E-mail			
7	ホームページ			
8	経営内容	繁殖 肥育 一貫	該当に○	
9	飼養品種	肉用種 乳用種 交雑種	該当に○	
10	飼養頭数	繁殖： 頭 肥育： 頭		
11	所属家畜商組合 又は所属農協			
12	購入情報	家畜市場名：		
		頭数(年間)： 輸送業者名：		
13	肉用牛の選定時に 重視する項目 (該当項目に○)	生産者名	産地	
		出生年月日	品種	
		体重	性別	
		外貌	血統	
		出生時母牛齢	人工授精	
		その他		

注1. ※は必須記入項目です。

注2. 肉用牛を飼養していることを確認できる書類の写しを添付ください。(登録証の写しや  
本申込書余白への個体識別番号の記載等でも結構です)